

授業概要

心理的アセスメントの実施においては、その実施目的や対象者に応じて、必要な心理検査が選択される。本科目では、履修者が種々の心理検査についての基本的な知識を得ることを目的として、発達検査や知能検査、質問紙法パーソナリティ検査、投影法パーソナリティ検査など、各種心理検査を広く取り上げ、その理論と実施法、分析法、解釈法について講義する。

授業計画

第1回	心理的アセスメントとは
第2回	投影法パーソナリティ検査/バウム・テスト
第3回	投影法パーソナリティ検査/S-HTP 法
第4回	知能検査/グッドイナフ人物画知能検査
第5回	投影法パーソナリティ検査/PF スタディ
第6回	質問紙法パーソナリティ検査/YG 性格検査
第7回	発達検査/津守式乳幼児精神発達検査
第8回	投影法パーソナリティ検査/ロールシャッハ・テスト
第9回	投影法パーソナリティ検査/SCT（文章完成法テスト）
第10回	発達検査/児童用 AQ
第11回	投影法パーソナリティ検査/風景構成法
第12回	作業検査/内田クレペリン検査
第13回	知能検査/田中ビネー知能検査 V
第14回	投影法による家族のアセスメント/動的家族画法、家族イメージ法
第15回	神経心理学的検査/改訂長谷川式簡易知能評価スケール
第16回	試験

到達目標

1. 心理的アセスメントの目的について説明することができる。
2. 各種心理検査法の基本的な事項について説明することができる。
3. 各種心理検査法の質的な差異を十分に理解し、説明することができる。
4. 心理検査を実施するうえでの基本的な倫理、心構えについて自らの考えを整理し、述べることができる。

履修上の注意

あくまでも授業内学習であることに十分配慮して実施するが、各種心理検査体験を伴うことを予め了解のうえ、授業に臨んでもらいたい。

予習復習

予習：関連文献にあらかじめ目を通しておく。
復習：授業ノートおよび配布資料の振り返りを行う。

評価方法

授業参加態度（意欲、積極的取り組み、主体性）50%、試験 50%によって評価する。

テキスト

使用しない。資料を配布する。